

# 空土ファーム生きもの調査 9月報告書

## 1. 調査の概要

### 1) 調査の目的

山梨県北杜市須玉町増富地域にある空土ファームの中で、2018年度に再耕作された耕作放棄地の生物多様性がどのように変化するか、周辺環境も含め調査を実施する。また、その調査結果をもとに、一般向け自然観察会の実施や、ハンドブック作成も視野に入れる。

### 2) 調査方法・結果

①調査地：山梨県北杜市須玉町増富地区「空土ファーム」とその周辺緑地（図1、図2）

なお、今回の調査では、4カ所の調査地点を設定し、地点ごとに確認した動植物を整理した。また、2018年に設置したビオトープ池も調査地点として設定した。



図1 調査エリアマップ

②調査日程：2020年9月21日 10:00～16:00  
2020年9月22日 5:00～15:00



A 地点



B 地点



C 地点



D 地点



ビオトープ池

図2 各調査地全景

③調査対象 : 鳥類、チョウ・トンボ・バッタ類等の大型昆虫類を中心に、姿・声・行動等を確認すると共に写真撮影を行った。両生類、は虫類、ほ乳類等は適宜調査した。植物に関しては、開花・結実しているものを記録した。また、C 地点に自動撮影装置を設置し、夜間に活動する哺乳類などの記録を行った（図 3、4）。



図 3. 設置された自動撮影装置の様子



ホンダタヌキ



ニホンジカ

図 4. 記録された生きもの

## 2. 空土ファームで見られた生きものたち

### 1) 空土ファーム 生きものピックアップ

#### キジ (A地点):

空土ファームの田んぼでキジを確認しました。これまでの調査では、残りの3地点でもキジが確認されていることから、調査地全域を利用していると考えられます。

今回の調査は4連休の中日ということもあり、周辺の田んぼでは家族総出で稲刈りが行われていました。空土の田んぼには稲がまだ残っていたので、このキジは隠れ場として空土の田んぼ利用していたのでしょう。



キジ (A地点)

## 2) 各調査地で見られた生きものたち



キアゲハ (A 地点)

空土ファームのイネにとまっていた。水田の周辺には食草となるセリ科の植物が多数見られます。



ナゴコガネグモ (B 地点)

主にバッタを食べるクモの仲間です。田んぼに複数個体見られ、どれも丸々と太ったお腹をしていました。



ビンズイ (C 地点)

比較的標高の高い山地の林に生息するセキレイの仲間です。明るい林内で少数の群れが見られました。



キバシリ (C 地点)

細長く湾曲した嘴をつかって、木の幹にいる昆虫やクモを捕まえます。

※山梨県 R L : 情報不足 (DD)



ヤマゼリ (D 地点)

花にはタテハチョウの仲間やシジミチョウの仲間が吸蜜に訪れます。



サワガニ (D 地点)

一生を淡水域で過ごすカニの仲間です。産卵期にあたるため、お腹に卵を抱えていました。

### 3) 空土★生きものコラム ～東男と京女～

『東男に京女』という諺をご存知でしょうか。「男は東男（江戸の男）のたくましさ、女は京の女のやさしさがよい」という意味です。あまり知られていませんが、昔の人はキビタキを東男、オオルリを京女にたとえていました。キビタキの力強い鳴き声が男性的で、オオルリの優美な声が女性的に感じたのでしょうか。でもきれいな声で鳴くのはどちらもオスだけで、細かいことを言うと、オオルリは京女ではなくて「京男」になってしまいます。

さて、空土の周辺では、東男のキビタキが確認されています。繁殖期間中の6月に実施した調査では、C地点の樹林からはキビタキのさえずりがよく聞こえました。「ピヨピ」と鳴いた後に「ピッピキ、ピッピキ、ピッピキ」と鳴く独特のリズムが、樹林内に響き渡っていました。今回の調査では、オスとメスの両方の姿を確認したことから、繁殖していたと考えられます。キビタキの巣は樹洞や木の間隙、キツツキ類の古巣などを使います。C地点の樹林内には大きな樹があり、アカゲラやアオゲラなどの大型キツツキ類が毎回確認されていることから、この樹林はキビタキにとって最適な繁殖環境が整っていると言えます。

今回はキビタキの姿を運良く観察することができましたが、葉の生い茂る季節に姿を観察するのは難しく、木々の間を飛ぶ一瞬の姿しか確認できなかったり、鳴き声のみの確認に終わったりすることがほとんどです。

今後、樹林のなかに水場をつくることができれば、キビタキや他の小鳥たちが水浴びをする様子を観察できるでしょう。自動撮影装置を仕掛ければ、これまでの調査での未確認種が記録されることも大いに期待され、もしかしたら、オオルリの姿も映るかもしれません。



キビタキ (C地点)

### 3. 調査結果

表.1(1/2) 調査地内で見られた生物種(草本)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RL	環境省RL
A	アキノウナギツカミ	○			
A	イヌタデ	○			
A	イボクサ	○			
A	クサコアカソ	○			
A	シデシャジン	○			
A	シロツメクサ	○			
A	スズメノヒエ	○			
A	ツユクサ	○			
A	ヒナタイノコズチ	○			
A	ヘラオモダカ	○		準絶滅危惧(NT)	
A	ミゾソバ	○			
A	ムラサキツメクサ	○			
A	メマツヨイグサ	○			
A	ヤブマメ	○			
A	ワレモコウ	○			
B	アイノコセンダングサ	○、Fr			
B	アレチウリ	○			
B	イヌビエ	Fr			
B	イボクサ	○			
B	ウシクグ	Fr			
B	ウシハコベ	○			
B	エゾノギンギシ	Fr			
B	オオバコ	Fr			
B	オモダカ	○			
B	カナムグラ	○			
B	カワラスガナ	Fr			
B	キツリフネ	○			
B	キンエノコロ	Fr			
B	クサコアカソ	○			
B	ゲンノショウコ	○			
B	シロツメクサ	○			
B	スズメノヒエ	○			
B	セイヨウタンポポ	Fr			
B	セリ	○			
B	ツユクサ	○			
B	ハキダメギク	○			
B	ヒメクグ	Fr			
B	ヘラオモダカ	○		準絶滅危惧(NT)	
B	メヒシバ	Fr			
C	ギンリョウソウ	○			
C	チカラシバ	Fr			
C	ツチアケビ	Fr		絶滅危惧 I B類(EN)	
C	ホオズキ	Fr			
C	ミズヒキ	○			

○:開花 Fr:結実 △:つぼみ ▽:花期終了

表.1(2/2) 調査地内で見られた生物種(草本)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RL	環境省RL
D	アイノコセンダングサ	○、Fr			
D	アカネ	○			
D	アキノエノコログザ	Fr			
D	アズマアザミ	○			
D	アレチウリ	○			
D	イタドリ	Fr			
D	イヌタデ	○			
D	オオブタクサ	Fr			
D	カナムグラ	○			
D	カラスビシャク	○			
D	キクイモ	○			
D	キツリフネ	○			
D	キンエノコロ	Fr			
D	クサコアカソ	○			
D	クサノオウ	○			
D	クズ	○			
D	ゲンノショウコ	○			
D	コアカソ	○			
D	シデシヤジン	○			
D	ススキ	○			
D	ダンドボロギク	○、Fr			
D	チカラシバ	Fr			
D	ツユクサ	○			
D	ツリガネニンジン	○			
D	ツリフネソウ	○			
D	ノコンギク	○			
D	ハキダメギク	○			
D	ヒナタイノコズチ	○、Fr			
D	ヒメジョオン	○			
D	ママコノシリヌグイ	○			
D	マメアサガオ	○			
D	マルバアサガオ	○			
D	ミチシバ	Fr			
D	ムラサキエノコロ	Fr			
D	ムラサキツメクサ	○			
D	メナモミ	○			
D	ヤマゼリ	○			
D	ヨウシュヤマゴボウ	○			
D	ヨシ	○			
D	ヨモギ	○			
ビオトープ池	イヌホタルイ	Fr			
ビオトープ池	シロツメクサ	○			
ビオトープ池	セリ	○			
ビオトープ池	ヒメクグ	Fr			
ビオトープ池	ヘラオモダカ	○			準絶滅危惧(NT)
ビオトープ池	ミゾソバ	○			

○:開花 Fr:結実 △:つぼみ ▽:花期終了

表.2 調査地内で見られた生物種(木本)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
A	ノブドウ	○、Fr			
C	ミズナラ	Fr			
C	サンショウ	Fr			
C	コナラ	Fr			
C	オニグルミ	Fr			
C	アカマツ	Fr			
D	ニセアカシア	Fr			
D	クリ	Fr			
D	オニグルミ	Fr			
D	アケビ	Fr			

○:開花 Fr:結実 △:つぼみ ▽:花期終了

表.3(1/3) 調査地内で見られた生物種(昆虫)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
A	アキアカネ				
A	アメンボ				
A	オンブバッタ				
A	クサキリ				
A	クロヒラタアブ				
A	コバネイナゴ				
A	ツマグロオオヨコバイ				
A	ナツアカネ				
A	ヒシバッタ類の一種				
A	ヒメアカネ				
A	ホソヒラタアブ				
A	ミヤマアカネ				
A	モンキチョウ				
A	ヤマトシジミ				
B	ウラギンシジミ				
B	ウリハムシ				
B	エンマコオロギ				
B	オオウラギンスジヒョウモン				
B	オオチャバネセセリ				
B	オニヤンマ				
B	オンブバッタ				
B	クビキリギス				
B	コアオハナムグリ				
B	コバネイナゴ				
B	コバネササキリ				
B	コマルハナバチ				
B	シバズ				
B	スジグロシロチョウ				
B	セイヨウミツバチ				
B	ツマグロオオヨコバイ				
B	ツマグロバッタ				
B	トビイロツノゼミ				
B	ナツアカネ				
B	ナナホシテントウ				



表.3(2/3) 調査地内で見られた生物種(昆虫)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
B	ヒメアカネ				
B	ホソミオツネトンボ				
B	モンシロチョウ				
B	ヤチスズ				
B	ヤマトシジミ				
C	オオアオイトトンボ				
C	キロスズメバチ				
C	クスサン				
C	ツクツクボウシ				
C	ニワハンミョウ				
C	ノシメトンボ				
C	ヒメアカネ				
C	ホソミイトトンボ				
C	ミドリヒョウモン				
C	ミンミンゼミ				
D	アキアカネ				
D	アザミオオハムシ				
D	アシグロツユムシ				
D	イチモンジセセリ				
D	イチモンジチョウ				
D	ウスバキトンボ				
D	ウラギンシジミ				
D	ウラナミシジミ				
D	ウリハムシ				
D	オオカマキリ				
D	オオニジュウヤホシテントウ				
D	オニヤンマ				
D	カンタン				
D	キタキチョウ				
D	キタテハ				
D	クモガタヒョウモン				
D	クルマバッタモドキ				
D	クロキシタアツバ		幼虫		
D	クロヒラタアブ				
D	コアシナガバチ				
D	コバネイナゴ				
D	サカハチチョウ				
D	シバスズ				
D	スジグロシロチョウ				
D	スジコガシラゴミムシダマシ				
D	セアカヒタラゴミムシ				
D	セイヨウミツバチ				
D	チャイロスズメバチ				
D	ツツレサセコオロギ				
D	ツバメシジミ				
D	ツマグロオオヨコバイ				
D	ツマグロバッタ				
D	ツマジロカメムシ				

表.3(3/3) 調査地内で見られた生物種(昆虫)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
D	トゲカメムシ				
D	トラマルハナバチ				
D	ナキイナゴ				
D	ナツアカネ				
D	ナミテントウ				
D	ナミハナアブ				
D	ニホンミツバチ				
D	ヒナバッタ				
D	ヒメアカネ				
D	ヒメカメノコテントウ				
D	ヒメジャノメ				
D	ヒロバネヒナバッタ				
D	フクラスズメ		幼虫		
D	ベニシジミ				
D	ホソヒラタアブ				
D	マガイヒラタアブ				
D	ミドリバエ				
D	ミドリヒョウモン				
D	ミヤマアカネ				
D	モンシロチョウ				
D	ルリタテハ				
ビオトープ池	イトアメンボ類				
ビオトープ池	オツネトンボ				
ビオトープ池	オニヤンマ				
ビオトープ池	キイロスズメバチ				
ビオトープ池	コオイムシ			準絶滅危惧(NT)	準絶滅危惧(NT)
ビオトープ池	ヒメアメンボ				
ビオトープ池	ミズカマキリ				

表.4 調査地内で見られた生物種(クモ類)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
A	ナガコガネグモ				
B	ナガコガネグモ				
C	コクサグモ				
D	ジョロウグモ				
D	ナガコガネグモ				
ビオトープ池	スジプトハシリグモ				
ビオトープ池	ハラビロアシナガグモ				

表.5 調査地内で見られた生物種(両生類)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
B	シュレーゲルアオガエル				
C	ヤマアカガエル				
ビオトープ	ニホンアマガエル				

表.6 調査地内で見られた生物種(爬虫類)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
D	ヒガシニホントカゲ				

表.7 調査地内で見られた生物種(鳥類)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
A	キジ	v、fl			
B	キジバト	v			
B	セグロセキレイ	v			
C	アオバト	s			
C	アカゲラ	c			
C	エナガ	c			
C	カケス	v、c			
C	ガビチョウ	c			
C	キバシリ	v		情報不足(DD)	
C	キビタキ	v			
C	コガラ	v、c			
C	コゲラ	c			
C	ゴジュウカラ	v			
C	シジュウカラ	v、c			
C	大型ツグミ類	c			
C	ハシブトガラス	c			
C	ヒガラ	v			
C	ヒヨドリ	c			
C	ビンズイ	v、c			
C	メジロ	v、c			
C	ヤマガラ	c			
D	ウグイス	c			
D	エナガ	v、c			
D	カワガラス	v			
D	キセキレイ	v			
D	コガラ	c			
D	シジュウカラ	v			
D	セグロセキレイ	c			
D	トビ	v			
D	ヒヨドリ	c			
D	ホオジロ	c			
D	モズ	s			

v:目視 c:地鳴き s:さえずり fl:飛翔 fd:採餌

表.8 調査地内で見られた生物種(哺乳類)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
C	ニホンジカ		自動撮影装置		
C	ニホンリス		自動撮影装置	要注目種(N)	
C	ニホンイノシシ		自動撮影装置		
C	ホンダタヌキ		自動撮影装置		